

デジタル人材の地産地消における専門学校の役割

RPAの本質を修得した人材が地域活性化に貢献できる

DX 推進の具体策として、RPA（Robotic Process Automation）の導入が進んでいます。RPA とは何なのか、そして地域経済活性化にどのような役割を果たしていくのか、また RPA を推進するための人材育成について、一般社団法人日本 RPA 協会 代表理事の大角暢之 氏に伺いました。

日本RPA協会とは

これまでデータを入力する多くの業務は、人がやっていました。それらの入力する操作を記録してデジタル労働者（デジタルレイバー）に作業を置き換えるれば、単純労働を人がしなくともよくなります。しかし、100% 置き換えることはできないので、例外処理やエラーが起きた時には従来通りに人がやればいいですよね。処理速度についても、例えば 1 日かかっていたものが 30 分で終わり、その分、人は他の仕事ができます。単純労働をやらされ続けると、人は会社に定着しませんが、デジタルレイバーは辞めません。RPA というのではなく、デジタルレイバーという労働力を活用することなんです。

そのことを、まずは社会に浸透させていくべきだと考えて日本 RPA 協会を設立しました。

RPAが地域課題を解決

RPAについて、人の仕事をロボットが奪うという議論がありますが、そうではないです。これから少なくなる貴重な人材に対して、定型業務はロボットにやらせて、生産性をあげて、人はマネジメントや付加価値の高い仕事をやりましょうということなのです。RPAはITとして導入する

ものではなく、人材のソリューションなのです。

特に地方では労働力の問題は既に起きていて、熟練者は退職し、若年層は減っているうえに首都圏に出ていく。だから新しい労働者としてデジタルレイバーを活用する力を、地方でこそ付けていく必要があるのです。地域で育った若者がデジタルレイバーアルを修得することで、地域課題を解決する流れを作りたいです。

労働力の問題を解決するには、2つしかなく、労働者の補充と生産性を上げることです。当協会では、RPA の導入の成功者や問題意識を持った方が集まって、この解決のための 2 点をしっかりとやっていこうとしています。

DX推進とRPA

経済産業省は 2018 年のレポートで「2025 年の崖」を指摘していて、デジタルレイバーを一般化して DX の実行力をつけましょうと言っています。労働力の問題は情報システムに丸投げではもう駄目で、デジタルレイバーにしか解決できないのです。そして、デジタルレイバーアルをつけるのは、これからのがデジタルネイティブの世代です。地方で DX が進んでいく中での専門の人材は若いほど早くなれるのです。日本の

企業の現場には、DX のアイデアがたくさん眠っています。若者がデジタルレイバーアルを修得すれば、それを実現できます。

専門学校へのメッセージ

私たちは、地域で DX を推進する、ローカルトランスフォーメーションする人材を「LX 人材」と言っています。LX 人材の育成は、地域で活躍する人材輩出を担う専門学校と目指す方向が一緒だと思います。LX 人材の育成により、デジタル人材の地産地消を目指す取り組みを、専門学校の皆様と連携してやっていきたいと考えています。是非、地域の活性化を目指し、連携して取り組んで参りましょう。



大角暢之 氏

早稲田大学卒業後、アンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア）を経て、2000年にオープンソーシエイツを創業。2013年にビズロボジャパン（現 RPA テクノロジーズ）を設立し、2016年に一般社団法人日本 RPA 協会を設立、代表理事に就任。

留学生向けオンライン合同企業説明会開催 [PR]

外国人材活躍推進協議会が日本商工会議所、生団連と連携

一般社団法人外国人材活躍推進協議会(略称:FORSA)は、専門学校に在籍する留学生が日本で就職し、日本で活躍できるよう、企業や業界団体等と連携した取り組みを推進する団体です。8月27日は、会員校に在籍する22卒の留学生を対象としたオンライン合同企業説明会を開催しました。この説明会の開催に

あたっては、日本商工会議所、全国商工会連合会、国民生活産業・消費者団体連合会(生団連)、および各地域の商工会議所より加盟企業に告知を依頼しました。今回は8社にご登壇いただき、留学生は約100名が参加。各社の情報は事前に参加学生に配布し、当日のプレゼンテーション内容を聞いたうえ

で、エントリーしたい企業にアンケートで答える形式で行いました。FORSAでは、今後も専門学校の留学生を採用する企業を開拓し、留学生の就職機会を拡げていく活動を行って参ります。留学生を受け入れている専門学校の皆様には、ご賛同いただけましたらご入会をご検討ください。

<https://forsa.or.jp>

お問い合わせ

一般社団法人
外国人材活躍推進協議会
mail : info@forsa.or.jp

FORSAはTCE財團の検定事業に賛同します。

Linux&Open Source Academic partner's forum発足 [PR]

説明会にインプレスと日本マイクロソフトが登壇

8月25日にLPI日本支部主催「Linux&Open Source Academic partner's forum発足説明会」が開催されました。当日はIT系の専門学校の方が34名参加。インプレス編集主幹の田口潤氏は「デジタル技術がすべてを変える~その中で重要性増すオープンソースとデ

ジタル人材」と題してオープンソースの現在を、日本マイクロソフトの坂田州氏は、Microsoftにおけるオープンソースの取組について講演されました。また、専門学校におけるLinux教育の状況について、麻生情報ビジネス専門学校と船橋情報ビジネス専門学校から発表。他校

にとっても参考となる内容でした。その他、オープンソースを推進する企業、団体からの発表もあり、多くの情報を得られる説明会となりました。今後、本フォーラムでは、オープンソースに関する企業の取組みや、必要とされるスキル情報を発信し、専門学校教育に活かしていく取り組みを行っていきます。

お問い合わせ

Linux&Open Source Academic partner's forum 事務局 (株)ビーアライブ内
mail : ipi-cp@b-arrive.jp

LPI日本支部は、TCE財團の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.12 2021年9月発行 (年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

[専門学校と経営]事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネバリティーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)
[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]<http://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財團法人 職業教育・キャリア教育財团 (TCE財團) 事務部事業課 検定試験センター

■【専門学校と経営】は、TCE財團の検定事業(J検・B検)と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報を発信しています。

「創る」「使う」「伝える」 情報検定J検

URL <http://jiken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 日檢

Jobpass

URL <http://bjken.sgec.or.jp/>